レッスン：PYR 76

テーマ：現在のパーソナリティーの下降

PYR 76 KE08 No.4 S01/03/12

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性によって抱かれています。

　過去のレッスンでは現在のパーソナリティーについて多く話し、現在のパーソナリティーは実際Lifeの現象であり、Lifeによって活性化されたものであり、このLifeは現在のパーソナリティーの内側にある、と述べました。

　現在のパーソナリティーはLifeによって活性化され、そのスパークが内側にあるとはどういう意味でしょうか？魂のセルフエピグノシスはそれ自身をそれ自身の中で現している神です。なぜなら質という点ではLifeのスパーク、ワンネスのステートにあるそのアウタルキーにおけるLifeとの違いがないからです。

　さて、魂はディバインの黙想の結果であり、何であれ創造界にあるもの、そして創造界それ自体は実際この終わりなきディバインの黙想の活動です。

　さて、この黙想には結果があるはずであり、仕事があり、その仕事とはモナドセルフの自己実現以外の何ものでもなく、それは絶対存在のワンネスの多重性の中におけるスピリットセルフ・モナドセルフであるモナドセルフの自己実現です。

　魂に戻ります。ロゴス的現れである魂がディバイン､神の仕事を達成することになります；そしてそのためには魂はLifeの本質を完全には現していない現れを活性化する必要があり、魂は存在の諸世界から実存の諸世界に入ってきます；それは魂からの微細なスパークにすぎませんが、その微細なスパークが最終的に現在のパーソナリティーを活性化させるのです。

　実存の諸世界に入ったこのLifeのスパークの現れがいわゆる現在のパーソナリティーなのでしょうか？違います、それはパーソナリティー、二元性の能力のあるパーソナリティーであり、二元性のあるこのパーソナリティーがアダムとイブであり、それはLifeの本質を完全に現していますが、まだ現在のパーソナリティーではありません。

　このステートではまだ仕事は達成されません、それはサイコノエティカルな諸世界にあり、また物質界ではありません。ですから、この現れが今や物質界に入って、完全に再形成されたサイコノエティカル体ではなく、球体をしたサイコノエティカル体になっています。それはその現在のパーソナリティーがいる惑星の形を帯びています。現在のパーソナリティーはその惑星上で今やLifeの現象として現れていますが、Lifeの本質を完全には現していません。そしてその瞬間以降、性別という現れを超越したアダムとイブとしてのパーソナリティーではなく現在のパーソナリティーとなります。そして二元性、性別という能力のある現在のパーソナリティーであり、それはLifeの影としてのLifeの現象です。

　魂のセルフエピグノシスは実際、アークエンジェルであると述べました。そしてアークエンジェルとしてそれは神であり、今や現在のパーソナリティーにとっての仕事は以前にLifeの本質を現していたステートに戻ることです。それはどのようにして達成されるのでしょうか？それは様々な潜在的可能性のサイクルから与えられるものと共に、気づきの上昇に向けて努力することです。そして勿論、現在のパーソナリティーは5つのアークエンジェルによって付き添われています…守護大天使、一つのミカエル、一つのラファエル、一つのガブリエル、一つのウリエルです。これらのアークエンジェルたちが許される限り助け、その最初のステップは現在のパーソナリティーが様々なアークエンジェルのオーダーと触れることです。

Page2

 しかし、そのパーソナリティーは様々なサイクルの中にあるいろいろな法則の助けと共にワークする必要があります。ですから、既に与えられている様々な形のピラミッドに関するエクササイズは非常に重要です。なぜなら各ピラミッドはそれぞれ法則を意味しているからです。

　ですから徐々にそれらのエクササイズを行うことによって、与えられた知識を実践して徐々に気づきのレベルを高めていくのです。これは気づきを高めるための唯一の安全なワークであり、さらには同胞の人間達を助けるためのパワーと能力を現すポイントに到達するための唯一の安全なワークです。

　真剣な探究者は決してマジックあるいはテクニックに触れるべきではありません。なぜならそれら全てのメソッドは最終的には反対のエレメンタルを活性化することによって､現在のパーソナリティーにアンバランスをもたらすからです。何であれ即時の結果を約束するものはマジックを通じてのものです…つまり現象を行うための。私たちは現象を求めません；存在する唯一の現象はLifeの現象であり、Lifeがその本質として行うことができるのです。Lifeが行う唯一の現象はヒーリングの現象であり、一般的に痛みの軽減であり、他人を魅惑するための現象ではありません；皆さんはこのことを覚えておくべきです。

　ですから、繰り返しますが、まず実存の諸世界に入るLifeのスパークがサイコノエティカル界においてアダムとイブとしてのパーソナリティーを活性化し、そしてその現れはLifeの本質を完全に現しており、また二元性の能力を持っています。仕事が達成されるために、人間のイデアを通過したその現れは物質を纏ってマインドの低次の波動の中に入る必要があります。それは物質界です。そしてその時から先、それは現在のパーソナリティーです。それは影となり、天人の体と同一の諸体を持っていません。

　諸体は球形であり、肉体においてそれらはハートのセンターに根ざしています。現在のパーソナリティーには2つの体があり、それらはサイキカル体およびノエティカル体です。しかしさらに肉体の健康を意味するもう一つの球体があります。

　それゆえに、現在のパーソナリティーの思考・行動の仕方は肉体に影響を与えます、なぜならそれらは同じセンターに根ざしているからです。

　そしてレッスンで述べたように、現在のパーソナリティーが啓発に向けて進むにつれて、つまり不定形の諸体の再形成に向けて進んでいくと、センターの位置が変わり、サイキカル体だけがハートにセンターがあるようになります。ノエティカル体のセンターは上に上昇して頭の中に、そして肉体の健康を意味するセンターは太陽神経叢、臍の位置に移動します。

　この動きは自己実現で完了し、その時には現在のパーソナリティーの諸体は完全に再形成されて、元型である人間のイデアフォームの形となります；つまりその体は天人の体と同一になります。その時に初めて思考・行動の仕方の結果による影響を肉体は受けなくなります。

　ですから、気づきのレベルを高めるようにすべきであると言う時、実際それはそのパーソナリティーは現在のパーソナリティーの不定形の諸体を再形成するために努力するということです。初めは勿論、現在のパーソナリティーは球形であり、両手・両脚がありません。そしてその球形から徐々にそれが長くなり、徐々に望ましい形を帯びるようになっていきます。

　勿論、そのパーソナリティーはそれを認識することはできないでしょう。なぜなら、自分の肉体だけが自分であると思っているからです。夢の中で自分の不定形な諸体を見ることはありませんが、しかし何であれ自分が気づいているものを築くことができます。それ故に、夢の中で自分が動くと、動いている自分を見ることができるのです。しかし、その背後のリアリティーを見ることのできる人は、不定形の諸体が動いているのを見ることができます。なぜならそれが本当のサイコノエティカル体だからです。しかし、同時にそのパーソナリティーが築いているものを見ます、なぜならあなたは自分のサイコノエティカル体を自分が好きなように築くからです。なぜなら、現在のパーソナリティーはまた創造エーテルを使う能力もあるからです。

Page3

Q：部屋のなかで4つのアークエンジェルからの助けは肉体およびサイコノエティカル体に影響を与えるのですか？

K：部屋については、アークエンジェル達による物理的な創造を見いだすわけではありません。部屋とはパーソナリティーが1番目及び2番目のサイクルの間にいるステートを意味します。パーソナリティーは守られる必要があり、同時に部屋の外に出た時により自由に動くための基盤を用意します。それが部屋の意味するものです。それゆえに私たちはそれを墓だと言うのです；墓とは、パーソナリティーが自分自身を守るためにLifeからあまり多くを現さないことを意味します。同時にそれは自分の無知から自分自身を守ることができる能力をLifeから与えてもらう、という意味もあります；それが部屋であり、アークエンジェル達によって築かれる何かではありません。

　アークエンジェル達は現在のパーソナリティーに付き添いますが、それは今のステートだけでなく、最初の転生から最後の転生まで付き添い、そして部屋の中であれ、外であれ現在のパーソナリティーが進む上で類似するように助けます。

　部屋の中では、つまり守られているステートで、最初はパーソナリティーは本能意識的意識のセルフエピグノシスを現します；そして後に2番目のサイクルでは潜在意識的意識のセルフエピグノシスを現し、そして部屋の外の3番目のサイクルではパーソナリティーは意識的意識のセルフエピグノシスを現します；そして後に4番目のサイクルでは超意識的意識のセルフエピグノシスを現します。そしてこのサイクルが完了すると、5番目が加わり、それは勿論自己実現を意味し、同時にそのパーソナリティーは五感を後にします…影の感覚であろうと真の感覚であろうと。そして同調を使い、もはや五感というものはなく、二元性もなく、思考を現すこともなく、そして1つのセンターだけがあり、それはLifeを意味するセンターで、それはハートのセンターです。そのハートにはもはやサイキカル体のセンターはなく、そのセンターはその時からはLifeのセンター、Lifeのスパークのセンターとなります。これが実際に起きていることです。

　なぜ部屋なのか？繰り返しますが、部屋は現在のパーソナリティーを守るシールドであり、そこで現在のパーソナリティーは地のエレメントの中にいるのであり､地のエレメントの上ではありません。そして現在のパーソナリティーが何にフォーカスしようとも、それは地のエレメントにフォーカスしているのです。そして、決して部屋の壁に割れ目、穴を開けてはいけないと言いました。なぜなら、もしそれが生じたら地のエレメントのなかにいるエレメンタルが部屋に入ってきて影響を与えるからです。なぜならば、何であれ地のエレメントの中にあるものは、無知のために人間が生み出した低次の波動の結果だからです。

　言い換えれば、地のエレメントの中には多くの否定性、多くの悪霊（デモン）がいます。

悪霊は人類の低次の波動の結果であり；彼等は低次の波動を創造しています。確かに現在のパーソナリティーは部屋の中で多くのエレメンタルを生み出していますが、それらのエレメンタルの多くは壁を通り抜けます、それは一方通行の能力です。そのエレメンタルは部屋の中に留まって、そのエレメンタルを生み出した人に影響を与えます。しかし、同時にそれらは壁の外に出ることができ、地のエレメントの中に留まります。ですからジャングルのようにはなりません。

　皆さんが部屋を後にして出る準備ができた時には、このエレメントの内側にいるそれらの獣たちと向き合うことのできる手段を携えており、それらに向き合うことができ、上に移動し、地のエレメントの上（前のようにエレメントの中ではなく上に）、地上にある大きな四面ピラミッドの中に立っている自分を見いだすでしょう。

Q：私の個人的なアークエンジェル達は常に利用できるが、しかし助けを求めなくてはいけないということでしょうか？

K：本人が第一であり、現在のパーソナリティーに付きそうアークエンジェル達ではありません。自分がまず努力し、そうすれば彼等も助けてくれるかもしれません。勿論、法則が許せば守護大天使が常にそこにいて助けようとします、例えば事故を避けるために。あなた、または周囲の人、愛する人達への痛みが生じるのを避けるために助けるかもしれません。

　勿論、それらのアークエンジェル達は痛みを軽減することはできません。しかし守護大天使はそこにいて守り、何かが起きるのを避けることができるように助けます。しかしもし何かが実際に起きた場合には、それは彼等の仕事ではなくてディバインの慈悲の法則の仕事であり、不可視のヘルパーの仕事です。

Page4

Q：二元性の時間の中にいる間に二元性から出ることは可能ですか？

K：自己実現の時にのみ二元性から出ることができます。しかし、転生のサイクルに留まることによって現在のパーソナリティーとして自らを現す自己実現したパーソナリティーは、完全に再形成されたサイコノエティカル体を持ちます。それは二元性を使います、なぜならそれは思考を現し、五感を使って他の同胞の人々と交流するからです。

　そのようなパーソナリティー達は他の全ての人々とまったく同じように機能しますが、しかし高次ノエティカル体を使用する能力があり、それは同調の能力を与え、そのステートでは二元性は必要ないのですが、しかし達成すべきディバインの仕事がない限りそのステートには留まりません。そして達成すべき唯一のディバインの仕事とは、地球の重力圏外で助けを与える必要がある場合です。つまり、テクニカルは手段で他の惑星を訪れている人間が助けを必要としている場合です。

　地球の重力圏の外に出る唯一の方法は高次ノエティカル体を使うことです。なぜなら、全ての天体はスーパーサブスタンスの海の中を泳いでいるからです。そしてスーパーサブスタンスとしての唯一の体は高次ノエティカル体だからです。ですから、彼等は高次ノエティカル体の中でサイコノエティカル体を同化させ、その体を使って宇宙の中を移動するのです。しかし距離は問題とはなりません、なぜなら彼等は思考の速度ではなくLifeのスピードで移動するからです。そしてLifeは創造界のあらゆる所にあります。なぜなら、Lifeと比べれば創造界は微細な粒子だからです。

　ですから、創造界はLifeの中にあり、Lifeはあらゆるところにあります。そして高次ノエティカル体と共にどこでもあなたがフォーカスする所に移動することができます。フォーカスした途端にもうそこにいるのです。時間はまったくかかりません。しかし、このことは思考を使っても起きるのですが、しかし思考の速度はLifeのスピードと比較したら無に等しいものです。そして高次ノエティカル体はこのLifeのスピードを使います。そしてこのスピードは同化のステートよりも少し遅れます；Lifeから同化に到達するにはまだ完了していない何かがあるのです。同化のステートでは創造界の中にあるもの全てと同化することができます；そして全て言いましたが、物質的なものだけでなく何であれ生きているものとも同化することができるのです。これは簡単には認識できないことかもしれませんが。

　このステートで重要なことはあなた方一人一人がリアリティーに気づき始めるということです。重要なのは体験に基づく知識であり、誰かから聞いた知識や本その他のなかで読んだ知識ではありません。体験に基づく知識は非常に重要であり、真剣な探究者はこれを求めるべきです…体験を通じた知識を。“確信がある者なら芥子の種ですら山を動かすことができる”とイエスキリストロゴスが述べたのはこのことです。それらはLifeに関する真の宝です。

Q：実際、私たちはこの次元を去ってパラダイスに入り、そしてまた地獄に転生してくるのですね。

K：ある意味ではそうです。あなた方が肉体を去る時、サイコノエティカル界は何を提供するのでしょうか？そこで私たちは自分自身の環境を創造し、何であれ自分に喜びをもたらすものを創造し、苦しみを背後にします。全ての人をそこに連れて行き、自分の好きな人を置き去りにすることはしません。誰をも失いません。何であれ好きな人、好きな物を創造しますが、何であれ嫌いなものは創造しません；ですから、そこは自分のパラダイスとなります。ですから、再び転生しなければならない時は、自分に苦しみを与えたものと共に戻ることはしません。つまり、フレッシュな状態で新たな転生をスタートするということです。

　これが死であり、私たちの理解では、それは実際新しい転生の準備なのです。そして本当の死がここにあります、なぜなら転生してこの世界に入るやいなや、低次の交流手段を使用し、それは真の感覚ではない影の五感を使うということです。そしてそれは多くの制限をもたらし、私たちは創造エーテルを使いません。皆さんが眠っている時に思考を使って移動しますが、実際に移動するわけではありません；眠っている時にはあなたは全てを自分のところに持ってくるのです。

　なぜなら、あなたは思考の動きをコントロールしないので、出来事は常に変化し続け、夢のなかでは論理的な出来事のつながりというものがありません。その理由は、自分の思考、考えをコントロールしないからです。そうです、そこには死があります。“死人が自分の頭を地中に埋めるがままにまかせる”とイエスキリストが自分の弟子にいいました。彼はまた“あなた方の中には死を味わわない者もいるであろう”とも言いました。なぜなら、生きている間に、つまり死ぬ前に死とは何かを知るからです。

　なぜあなた方はここにいるのですか？ここにいて、探求して何を達成できるのでしょうか？ここにいることによって、啓発、自己実現への速度を速めるのです。そしてそれによって多くの経験を避けることができるのです。経験を避けるとは、転生の回数が少なくなるということです。つまり、皆さんが今ここで得ているような助けを得ていない人々よりも、転生の回数が少なくなるということです。最初に山頂を目指した人々はジャングル、沙漠その他を通過する必要がありました、そして時にはまっすぐ頂上を目指す代わりにジグザグに進むこともあり、山頂まで行き着くには多くの転生が必要となりました。後になると、人々はイエスキリストロゴスに導かれ、頂上までの道を示してもらったのです。それは頂上までの直線コースであり、アベニューです。皆さんは過去の人々のように小道をジグザグに進む必要はありません。それゆえに、この地球上における人類の自己実現への道が加速化され得るのです。

Q：私の質問はスピリチュアルな努力をしなければならない時に、怠けようとしがちになるということです。

K：それに対する唯一の方法はフォーカスしないということです。たとえば、エクササイズをしている時に、多くの想念がやってきてエクササイズから心がそれてしまいます。あなたが行っていることから心を逸らしてしまう状態、なにがそのような状態を作りだしているのでしょうか？それは現在のパーソナリティーの2つの小さなエゴの中のより小さなエゴです、それによってあなたがLifeそれ自体からより多くを現すことがないようにです。実際それはエゴです。なぜならより小さい方のエゴはまさにエゴイズムだからです。しかしそれと闘おうとしないで、ただその状態からフォーカスを移すのです。

　もしそれが出来ない時は、しばらく離れます、より小さなエゴに自分が勝ったと言うチャンスを与えないようにです。しばらく離れてから、もう一度始めます。そしてその間の時間、続けられなかったことは忘れます。何が起きているかというと、そのより小さなエゴが生き残ろうとしているのです。そして現在のパーソナリティーがもうすぐ2番目のサイクルをマスターして3番目のサイクルで続けようとしている時には、それがより明らかになります。

Ｑ：私たちは近道をするためにここにいる、とあなたは言いましたが、最終的には原因結果の法則が決めるのではないでしょうか。

Ｋ：最後の言葉は私たち次第です。なぜなら、原因結果の法則は私たちの生き方に従って働くからです。私たちがLifeそれ自体からより多くを現せば現すほど、私たちの進化成長の邪魔をしているものを避けることができるからです。つまり、人生の中で学ぶべきレッスンの量が少なくなるからです；つまり与えられたレッスンを学ぶことに成功すればということで、さもなければ同じ学びを何回も繰り返すことになります。神はもしそれが私たちにとって役立つことでなければ、それが私たちに起きるのを許すことはないでしょう。私たちは無知のゆえにそれがわからないのです。絶対存在が私たちの内側にあるにもかかわらず、私たちは何がリアリティーなのかがわからないのです。それはあまりにも近くにあるのですが、人間はそれを知らないのです。

　帰還するまでに現在のパーソナリティーとしての人生をどれほどの回数を生きなければならないのでしょう。地球上での人生とは何でしょうか？地球上で人類はどれほど多くの転生を繰り返してきたでしょうか？この惑星の歴史は何十億年にもなります。それについて考える時、レムリア時代、そしてそれ以前の時代があり、そしてアトランティスはマジックによって破壊され、沈みました。しかしLifeにとってはそれはほんの“一瞬”のことであり、（＊Lifeは）時間・空間の意味を越えています。

　あなたが自己実現に到達すると、この全てをLifeの始めから、この地球上に人類が存在するようになった以前からの全てを見ることができます…地球が火の塊だった時からさえも。その時からの全ての出来事と変遷を見ることができるのです…溶岩、海、陸地が固まっていく様子、そして植物が茂り始め、また動物界が姿を見せます。皆さんにわかるように私はこれらを話しています。もし望めば、あなた方はこれら全てを詳細に一瞬のうちに見ることができます…一回の転生など無に等しいものです。ですからこの地球という惑星は人類全てが自己実現に到達するまで続くことでしょう。そしてその時初めて、現在のようにある必要はなくなるでしょう；その時には私たちは他の惑星の発展のために奉仕するのです。

　この地球上で自己実現に到達した人達は私たちの間にまじって現在のパーソナリティーとして生きていて、転生を繰り返しています；その人がキリスト教に属していようとも、または他の宗教に属していようとも、全員がそれぞれの仕方で奉仕しています。

Page6

Q：様々なピラミッドの中で現在のパーソナリティーが達成すべきワークを、そして各ピラミッドがどの法則を意味しているかを、明確にしてくれますか？

K：四面ピラミッドは一つの法則を意味しており、それは4つのエレメントを与えます。現在のパーソナリティーはこれら4つのエレメントを身につけており、4つのエレメントを使用する結果としてその現在のパーソナリティーがLifeからどれだけ多くを現しているか、ということです。

　3面ピラミッドはその人がいるサイクルで、法則からどれだけ多くを、Lifeからどれだけ多くを現すか、あるいはマスターしているかを意味します。同じ事は5面ピラミッドについても言え、そのパーソナリティーがこの特定のサイクルをマスターした後で、真の感覚からどれだけ多くを達成し、現しているかを意味します。

　これがそれらの法則であり、それが現在のパーソナリティーです。しかし、これらの法則のそれぞれの中には他の小さな法則もあります。しかし、それは皆さんがワークをしている間に、より意識的に法則にアプローチしている時に見いだしてください。勿論、常に3面のシンボル、様々なフォームのピラミッドからですが。

　各法則にはそのシンボルがありますが、それは実際には3次元ではなく2次元です。しかし私たちは3次元の世界にいるので、それらの法則にアプローチする唯一の方法は3次元のシンボルを通してなのです。それゆえに私たちはピラミッドを使うのです。

Q：エクササイズをする時に、サイコノエティカル体を私たちが普段見る形に従ってイメージしますが､次の転生ではこのレベルを思い出さないのですか？

Ｋ：思い出すためには非常に高い気づきのレベルに到達する必要があります。しかし、何であれあなたがある転生で努力して得たものは、次の転生でも失われることはありません。各転生で同じことが言えます。

　しかし、思い出すのは非常に困難です。なぜなら、もし前の転生で関係した全ての人間を今あなたが覚えているとして、今生でそれらの人と会うことができず、そしてそれらの人はあなたではなく他の人と関係していることがわかったら、どれほどの苦しみ、悲しみが生じるでしょうか。過去生であなたが愛した人々を今もはっきり覚えていて、しかも今生でそれらの人と関係することができないのです。あなたは過去の自分自身を見ます。なぜなら、過去生のあなたは今のあなたほど成長していません、なぜなら転生するたびにLifeそれ自体からより多くを現わすようになるからです。ですから今生のあなたの方がより良い現れになっています。過去のあなたを見ることができたら、今のあなたはそのような自分を受け入れないでしょう。意味も変化し、過去生におけるあなたは今では非常に悪いとみなされていることをしています。そのような過去の自分を見た時、あなたはどのように感じるかわかりますか？ですから、思い出さないという法則があり、それは私たちのためなのです。ですからいわゆる過去生退行を行うべきではないのです。ですから過去生は忘れて、現在のあなたにとって最善のことを行うのです。

　ヒーリングに関しては、一度ヒーリングが与えられたら（＊ここではエレブナから、つまりキキスから送られたヒーリングを意味します）、それは次の転生で生まれて来るまで効果が続くということを覚えておくべきです。さらにもう一度ヒーリングを受けた場合には、さらにより多くの助けが来るのではなく、あなたがより確実にそれを感じることができるということです。あなたは自分自身をもっと開くということです。しかし、ヒーリングは常にそこにあります、特にエレブナの会員の場合には。

　あなたが探究者としてエレブナに入会した時に与えられたエレメンタルは単にあなたを守るだけでなく、あなたが必要とすることに応じて助けが与えられます…健康、ガイダンス、保護など。

　ですから、一度受けたエレメンタルのエネルギーが失われるので、もう一度受けた方が良いということはありません。そのエレメンタルは今生だけでなく、肉体を去ってサイコノエティカル界に移行してもあなたと共にあります。勿論、そのエレメンタルが自分に留まって欲しいと思うか否かはその人次第ですが。もしパーソナリティーが､自分と共に留まって欲しくないと言えば、それは戻ることでしょう。しかし、もしそのパーソナリティーが興味を抱き続けるなら、それは次の転生までその人に付き添います。ですから、ヒーリングを何回も受ければそれだけより多くの助けが得られるのではなく、あなたがそれだけ実感できるということです。

EREVNA PYR 76 KG08 03/112